

学校だより

くすのき

8・9月



ホームページはこちらから!随時更新中→

令和8年 8月 27日

横浜市立本牧南小学校



校長 川又 美貴子

今年の夏は、雨が降る日や涼しい日も幾分多く、例年よりも過ごしやすい日が多かったように感じます。とはいえ、日中の暑さは子どもたちが外で走り回れるような気候ではなく、長い休みをそれぞれ工夫して過ごされたことと思います。この夏から、閉庁期間中の花壇や畑の水やりボランティアを募集させていただいたのですが、お断りしなければいけないくらい多くの方にお申し出いただき、改めて、保護者、地域の皆様に支えていただいていることを感じました。おかげさまで、子どもたちの学習が充実するような環境を整えることができました。お申し出いただいた方々も含め、本当にありがとうございました。



いざという時に備えて

さて先日は、神奈川でも震度4を観測する地震がありましたが、この夏は穏やかな日ばかりではなく、熊本の地震や千葉の豪雨など、各地で自然災害が発生しました。犠牲になられた方々のご冥福を心よりお悔やみ申し上げるとともに、今なお、苦しい環境での生活を強いられている方々が一日も早く、平穏な日常を取り戻せるようお祈り申し上げます。

身近な方やお知り合いで被害にあわれた方、また旅行や仕事などで影響が出た方などもいらっしゃるのではないかと思います。本校の職員でも、研究会で訪れていた熊本でちょうど地震に見舞われ、大きな恐怖と困難な状況を経験した者もありました。幸い、けがもなく無事に帰ってこられて安堵したのですが、戻ってきてから当時の状況を聞くと、日ごろの訓練の大切さを改めて感じたということでした。職員によると、その日は大勢が集まるホールにいたそうです。地震発生時、経験したのではない下から突き上げるような大きな縦揺れに恐怖を感じたものの、その場にいた皆が頭を守って身を低くし、揺れが収まった後、落ち着いて避難することができたとのことでした。

実際に災害に直面した時には、平時には想像もつかないような恐怖に襲われることでしょう。でもいざという時、自分の命も、周りの命も守るため、考えるより先に体が動くようにするために訓練があるのだと、今回の職員の経験談を聞いて改めて感じました。これからも安全教育に力を入れていきたいと思います。

また、先行して連絡アプリ「すぐーる」でお知らせしましたが、新たなレベル表示での気象情報に合わせて、本校の「風水害・地震等に対する登下校対応マニュアル」を改訂しました。風水害や地震の影響が見込まれる「前日」の対応が加わりましたのでご確認ください。また、登校後の「津波警報を伴う大地震発生時」には、これまで本牧臨海公園での引き取りをお願いしていましたが、今後は原則として「学校での留め置き、引き取り」となります。この変更は、横浜市・神奈川県最新のハザードマップの内容や、本校が津波警報発令時の指定避難所となっていることなどを踏まえ、総合的に判断したものです。登校後の災害発生時の引き取り場所は、原則「学校」となります。よろしく願いいたします。

秋は運動会、フェスティバルなど、子どもたちが大きく成長する行事が控えています。一人ひとりが自分らしくチャレンジして力をつけていけるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでいきます。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。